

中濃支部 リハビリフェア開催!!

～ 実施報告 ～

関中央病院 リハビリテーション科

木村 英司

実施日時：平成 26 年 11 月 30 日（日）

13 時～16 時

会場：サンサンシティマーゴ

2 階 夢広場（関市）

利用者数：約 65 名（内、高齢者 7 名、

当院よりさくら 5 名）

スタッフ：13 名（内、企業様 2 名）

日々の業務におきまして諸先生方、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

先生方はショッピングモールと聞くと、どこを思い出しますか？私はAEONを思い出します。今回、そのAEON（関市）のイベント会場（面積 96m² → テニスコートの約 1/2 の広さ）にて、中濃支部主催 リハビリフェアを開催致しました。テーマを「理学療法って何？」と置き、普段行っている理学療法業務により近い形にて地域の方々に理学療法を深く知って頂けるよう、活動を行ったため、報告致します。

その具体的な内容としまして、本イベントに興味を持ち、足を止めて下さった利用者様にスタッフである理学療法士が一人一人個別にて対応し、「理学療法」とは何かをお伝えするといった周知活動を実施し、相談や問診を行いました。その上で、時間のある利用者様には体力測定・評価として、握力、TUG、10m 歩行テスト、Functional Reach、片脚立位、CS-30、背筋、肺活量を測定させて頂きました。それらを元に全国的な平均値などと照らし合わせ、現状をお伝えするとともに、理学療法では徒手的な治療や物理療法等の道具を使用することなど、どのようなことをして行っているのか。また、在宅での自主的な運動も含め、散歩等の歩行やセラバンドの使用をどのようにすると良いかなど、指導を行いました。更には、福祉用具や病院での評価機材の話も交えながら、相談やアドバイス等もさせて頂きました。

その結果、スタッフ一丸の頑張りもあり、

老若男女問わず、約 60 名もの地域の方々にお時間を頂き、理学療法を知って頂け、大盛況に終わったのではないかと感じております。

ここで相談を頂いた中で、質問を受けた例を紹介致します。「理学療法ってどのようにしたら受けられるの？」、「マッサージする人とは何が違うの？」などもお聞きしました。まだまだ、広く周知は必要だと、私自身が感じる反面、限られた地域にも関わらず、「息子が理学療法士なの。」との話も聞け、身近な存在にもなっているのは確かだと感じました。

更に感激した点としまして、今回イベント中に迷子のお子様を見つけ、迅速に対応して頂いた先生もみえました。困った人を助けたいという思いは理学療法士として、素晴らしい行動であると感じたことと、休日にも関わらず、必死に周知活動等を行って頂いた各先生方には本当に頭が上がりませんでした。

最後に、今回このような機会を与えて頂きました、中濃支部 公益事業部担当 関中央病院 伊藤あかり先生、当日もスタッフとしてお支え頂きました、中濃支部長 東可児病院 岡崎智信先生はじめ、私の拙い企画内容にも一生懸命に取り組んで頂きました各先生方（病院名、氏名）、企業様を以下に記し、この場をお借りして感謝の意を申し上げます。

太田病院 林祐弥, 前田泰宏

関中央病院 井上泰基, 小島浩資, 長縄 昌也

中濃厚生病院 土屋友香理, 古川元康

東可児病院 大竹一輝, 岡崎智信, 村田耕一

五月商店 西久保豊

(50 音順、敬称略)

